

観光ビジョン推進北海道ブロック戦略会議の運営について

平成 29 年 4 月
北海道運輸局
北海道開発局

1. 目的

「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成 28 年 3 月 30 日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定）に掲げられた目標の実現に向け、政府一丸、官民一体となって取組を進めている。観光ビジョンに掲載された各施策に関連する取組を推進し、北海道における課題の解決及び北海道の特色を活かした観光振興のための環境を整備するため、「観光ビジョン推進北海道ブロック戦略会議」（以下「戦略会議」という。）を設置・開催するものとする。

2. 戦略会議の構成

- (1) 戦略会議は、経済団体、観光関係者、交通関係者、関係機関、行政機関で構成する（別紙参照）。
- (2) 戦略会議の下に、観光地域づくり WG、交通 WG、航空・港湾 WG を設け、各 WG においては関連する分野にかかる取組を行う。
- (3) このほか、必要に応じて、構成員の追加・変更を行うとともに、戦略会議にオブザーバー、特別委員等を出席させることができることとする。

3. 取組事項

戦略会議においては、主として以下の取組を行うものとする。

(1) 観光ビジョンに掲載されている施策及びこれに関連する施策の推進

- ①各施策に関する地域の取組のサポート及び働きかけ
- ②施策を推進する上で障害となる課題の把握と解消に向けた取組

※課題の抽出、実施主体、対応方針の決定は以下を基本とする。

- 北海道運輸局は道内地域ヒアリング等を通じ、各分野全般について課題を把握。把握した課題について、実施主体及び対応方針を検討し、各実施主体と調整。
- 他の国の機関は、それぞれの政策分野について課題、実施主体、対応方針を決めて調整。各実施主体との調整は、必要に応じて北海道運輸局と連携・調整。
- 北海道庁においては、庁内プロジェクトチームを活用して、庁内での連携・調整を行うほか、(公社)北海道観光振興機構の専門部会や地域分科会等も活用しながら、地域課題の把握や地域観光関係者との役割分担等の調整を図り、インバウンドの加速化に向け、必要な支援策の検討を含め取組を進める。
- その他の構成員においては、WG での議論や逐次のタイミングで北海道運輸局はじめ他の構成員に対して課題や対応方針について提案、調整。

(2) 各構成メンバーの取組に関する情報共有及び調整

(3) 北海道庁、市町村、観光関係団体等からの相談対応（ワンストップ窓口）

4. 事務局

戦略会議及び各 WG の事務局は、北海道運輸局及び北海道開発局が協力して担うこととする。

5. 報告

(1) 観光ビジョン掲載施策の具体的な取組の推進を図るため、地域から抽出した具体的な現状・課題は、随時、WG において審議し、進捗状況の把握や必要な調整等のとりまとめを行い、戦略会議に諮る。

(2) 北海道運輸局は、戦略会議の検討内容を取りまとめ、概ね年末に本省に報告する。

6. その他

(1) 事務局が WG を効果的に運営するために必要と判断した場合、書面による開催を認めることとする。

(2) このほか、会議の運営に必要な事項は、事務局が協議して定める。